

# 『教育制度学研究』執筆要領 [2024年10月20日改訂]

## 1. 原稿様式

- (1) ワードプロソフトは「Microsoft Word」または「一太郎」を用いる。
- (2) A4 判、縦置き、横書き、天地余白35mm、左右余白35mm(10.5ポイント)、40 字×30 行×15頁以内(=18,000字)とする。
- (3) 最初の行にタイトルを記す。
- (4) 本文の句読点は、原則として「、」「。」を用いる。
- (5) 数字・欧文等は半角を基本とする。
- (6) 論文原稿は、次の順番とする。タイトル、本文、註、文献一覧、付記。

## 2. 見出し

見出しは次の例に従う。

<例> 1 → (1) → ①

## 3. 図表：【例】参照のこと

- (1) 図表番号およびタイトルを付す。タイトル位置は、図の下、表の上とする。
- (2) 原則として、図表は執筆者が作成し、別途Microsoft Excel等で作成したオリジナルのデータを添付する。
- (3) 出典は必ず明記し、最初の行の冒頭に「出典：」と記す。
- (4) 図表中の文字は8ポイント以上の大きさとし、図表が極端に小さくならないように留意する。

【例】

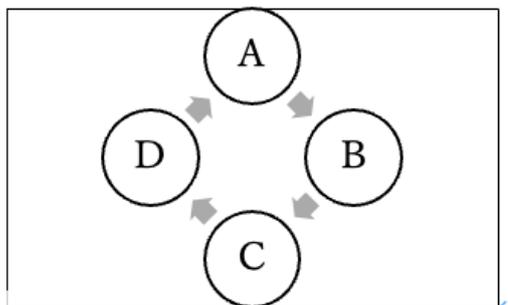


図1：○○○

出典：U.S. Department of Education(2020)をもとに筆者作成

表1：○○○

	あいう	えお	かきくけ
ABC	○	○	△
DEF	○	◎	○

出典：元兼・青木(2021) pp.10-13をもとに筆者作成

#### 4. 註

- (1) 本文中に「……」<sup>1</sup>のように、右肩に4分の1の大きさの通し番号を振る。ワープロソフトの「脚注と文末脚注」の機能を用いる場合も同様とする。
- (2) 註は原稿の末尾に一括して付け、見出しは【註】とする。

#### 5. 文献一覧および文献指示表記

- (1) 文献一覧は原稿の末尾に一括し、邦文文献を五十音順、欧文文献をABC順に列記する。
- (2) 見出しは【文献一覧】とし、註の後に置く。
- (3) 引用等の文献指示表記は、下例のような方式で文中に記す。

<例> ……「…引用…」(藤田 2014 p.12)がある。

……が指摘されている(藤田・藤井 2000 pp.101-102)。

……の研究などがある(Fujita 2014; Fujii 2013a)。

#### 6. 文献表記

文献表記の方法は、下記に倣う。

<邦文文献>

- ・書籍：著者名(出版年)『書名』出版社名
- ・翻訳書：著者名(出版年)『書名』(訳者氏名)出版社名
- ・書籍所収の論文：著者名(出版年)「論文タイトル」編者名『書名』出版社名、pp.○-○
- ・雑誌論文：著者名(出版年)「論文タイトル」『雑誌名』巻(号)、pp.○-○
- ・複数の著者や編者を並記する場合は・(中黒)を使用する。

<欧文文献>

